

鹿児島県医療的ケア児等支援センター の取り組みについて

医療的ケア児支援連絡協議会

令和7年3月18日(火)
鹿児島県医療的ケア児等支援センター
前野かつ子・高塚聖子



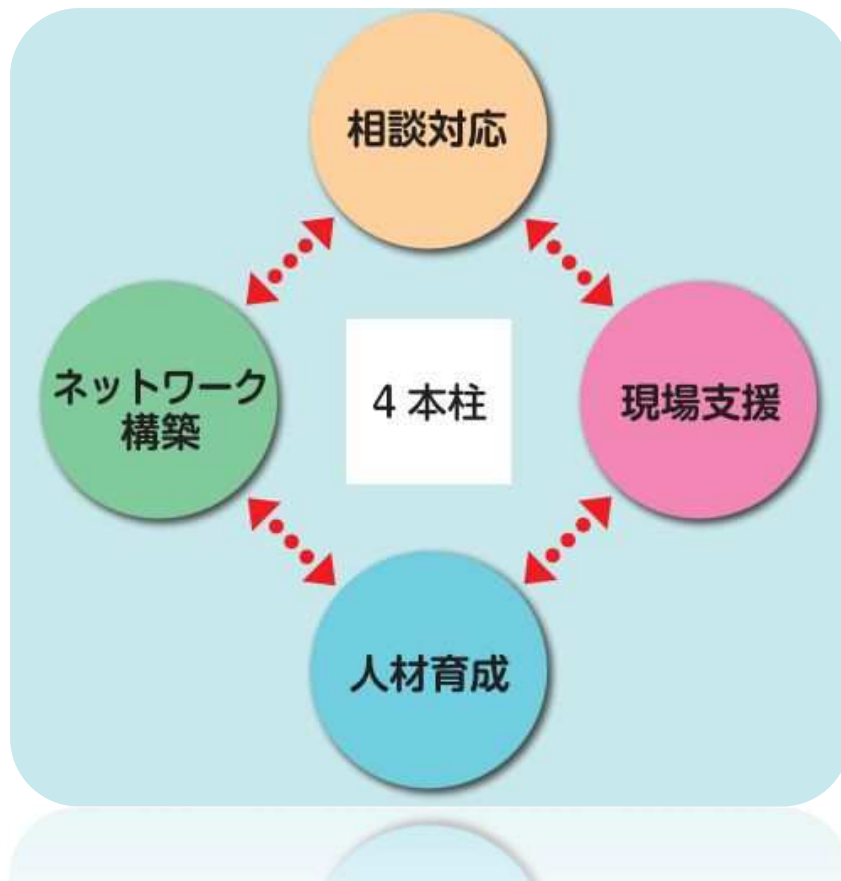
報告事項

I .県医療的ケア児等支援センター(以下「センター」)の4本柱

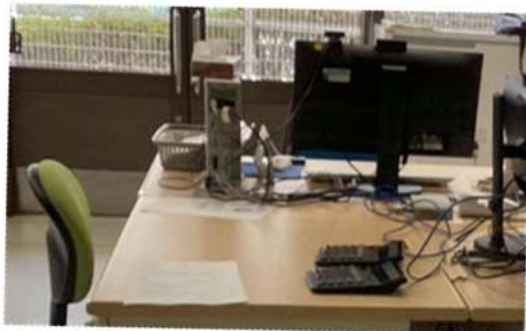
II . 活動実績

- 令和5年9月～令和6年3月31日
- 令和6年4月～令和6年12月31日
- 令和5年度・就園・入学・通学における医療的ケア別相談者
- 令和6年度医療的ケア別新規相談者
- 事例紹介(Aさん) 退院支援から就学支援
- 課題

I. センターの4本柱



1. 相談対応



80件/月

・ 全ての相談に**タイムリー**に対応できるように、必要な場合、各地域の関係機関と協力体制のもと対応する。

・ 対象者からの相談については、地域の**医療、保健、福祉、教育等**の関係機関と連携を取りながら、地域が主導して支援していけるように繋ぐ
 <相談先は家族・市町村・医療機関が多い>

・ ご家族や支援関係者と**意見交換**を行う。

医療的ケア児等支援センター

TEL 099-814-7418

FAX 099-814-7419

ご相談
フォーム

受付曜日：月～土曜日(※電話対応は月～金曜日)
 受付時間：9～17時(8/13～15・祝日・年末年始を除く)

2.現場支援

- ・退院時カンファレンスやケース会議に出席し、支援のあり方等について他関係者と協議する。
- ・求めに応じて、保育所や学校、福祉事業所等の支援の現場に出向き、助言等を行う。
- ・事業所等の来所に対応し、情報交換や情報共有、技術支援を行う。

放課後等デイサービス・児童発達支援事業所等職員の向けての気管カニューレ挿入の実技研修



入学式の打ち合わせ

3.人材育成

項目		内容
人材育成	医療的ケア児等コーディネーターの育成	医療的ケア児等コーディネーター養成研修及び医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修における講師を務めた。
	訪問看護師育成	看護協会にて訪問看護師育成研修において、小児訪問看護師の課題と対策について意見交換を行い、今後行う研修について検討を進めた。
	保育園・幼稚園看護師との意見交換会	センターの企画で鹿児島市保育幼稚園課が開催。オブザーバーとして参加(2月4日)
	セミナーの講師	自立支援協議会・相談支援専門員研修・特別支援学校看護師研修など20を超える研修の講師を務めた。

4. 連携・ネットワークの構築

項目	内容
市町村 自立支援協議会 等への参加	鹿児島市, 霧島市, 湧水町, 始良市, さつま町, 肝付町, 錦江町, 中種子町, 徳之島町 , 南さつま市, 薩摩川内市, 日置市等の会議出席
庁内関係各課 との意見交換会	・障害福祉課・子ども家庭課・子育て支援課・健康増進課・社会福祉課・災害対策課・特別支援教育課との意見交換
訪問看護ステーションとの連携	県訪問看護ステーション協議会と連携して、各地区の訪問看護ステーションの医療的ケア児支援の実績や受入可否等について情報収集。
医療機関との情報交換	鹿児島大学病院地域連携室との連携 鹿児島市立病院NICUや地域連携室と退院に向けての家族支援 鹿児島生協病院 に レスパイト先 の相談。 沖縄南部医療センター・徳之島徳洲会病院との連携
障害福祉サービス事業所との情報交換	鹿児島市, 湧水町, 中種子町, 徳之島町の事業所との連携。
保健所 との連携	鹿児島市, 鹿屋保健所, 徳之島保健所、名瀬保健所、加世田保健所等と小児慢性特定疾患(医療的ケア児)児に対する支援体制についての協議。
市町村教育委員会	鹿児島市・錦江町・徳之島町・肝付町・湧水町・薩摩川内市・日置市・屋久島町・始良市・志布志市・喜界町等と 入園・入学等 に関して協議

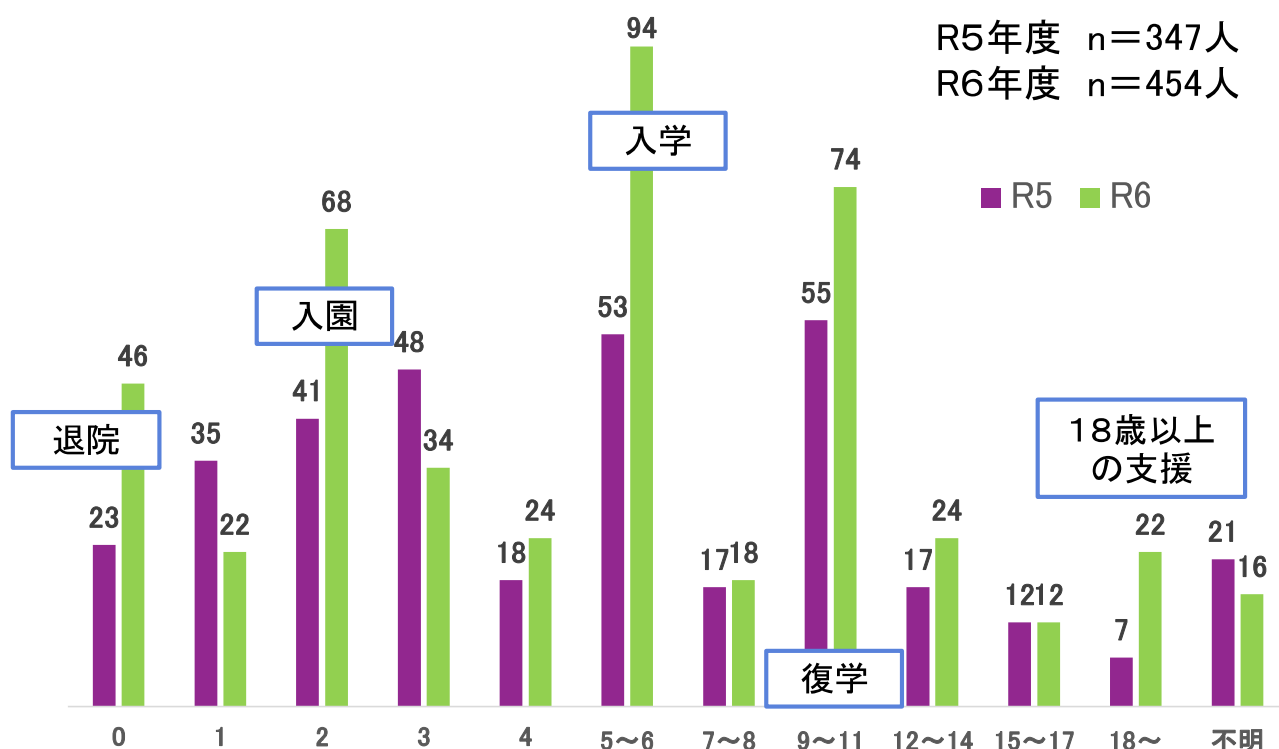
Ⅱ. 活動実績

- ・R5年9月～R6年3月(7ヶ月)
- ・R6年4月～R6年12月(9ヶ月)

1.年齢別延相談者数

R5年度 n=347人

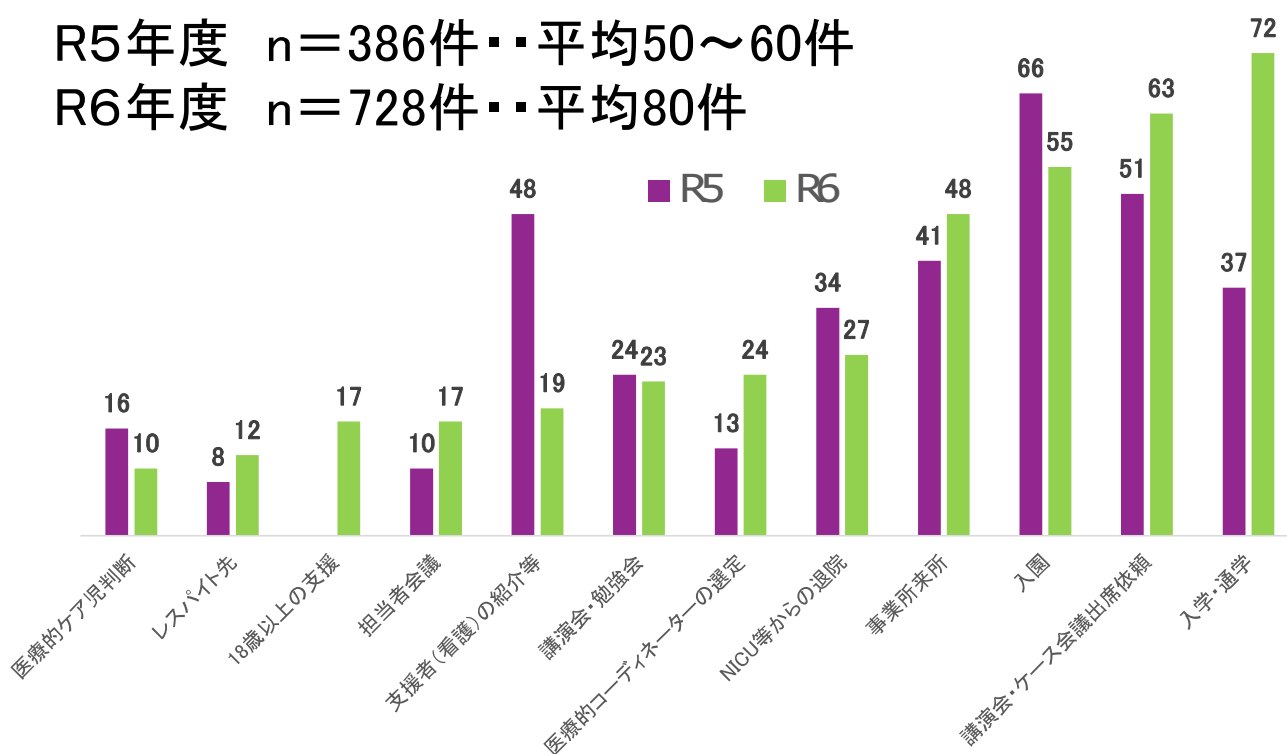
R6年度 n=454人



2.相談内容別延件数(上位を抜粋)

R5年度 n=386件・平均50~60件

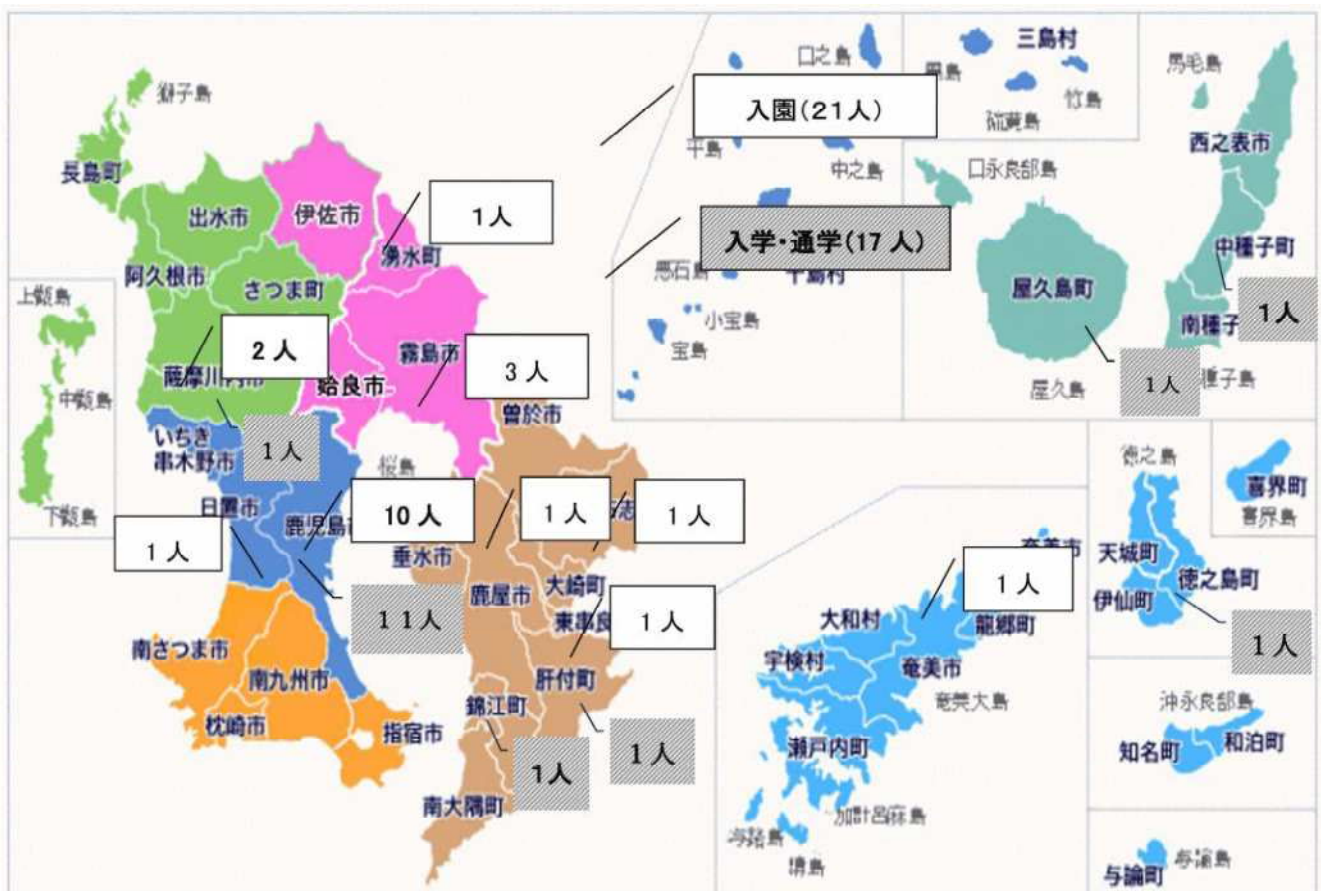
R6年度 n=728件・平均80件



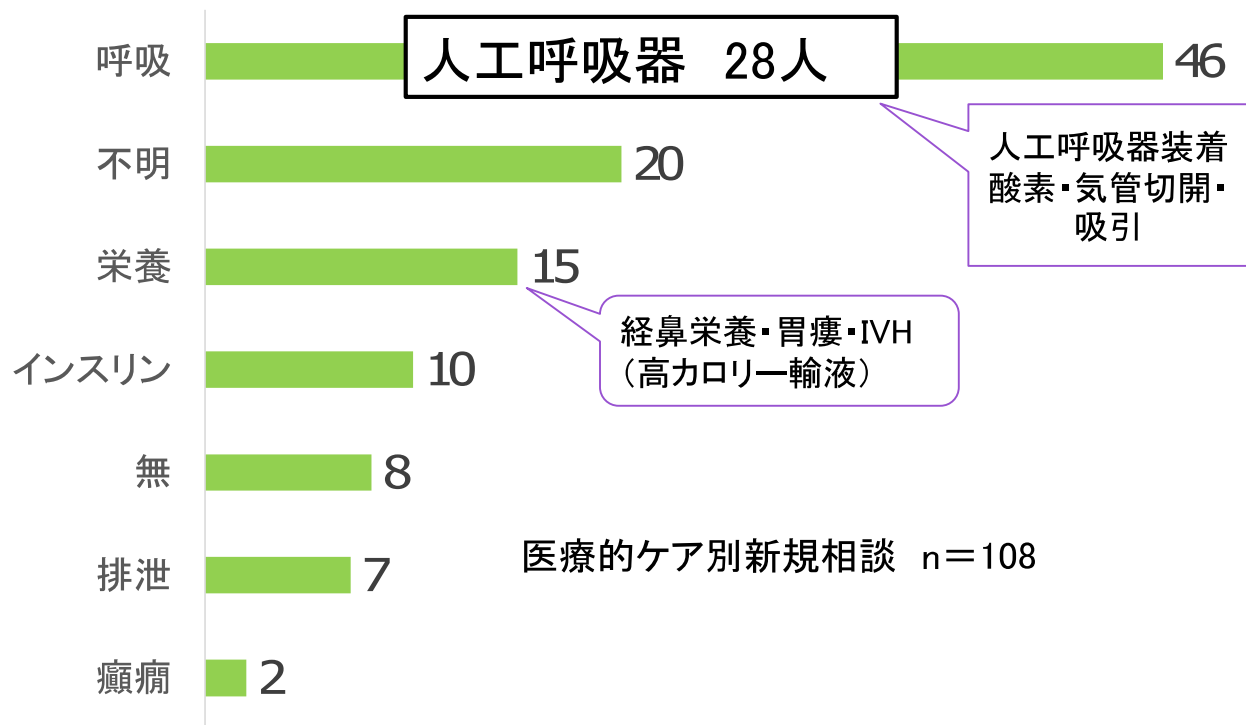
3.R5年度入園、入学通学における
医療的ケア別相談者数 n=38人 ():入園等できた人数

医療的ケア	入園	入学・通学	合計
人工呼吸器	3(1)	3(3)	6(4)
在宅酸素(酸素療法)	5(5)	6(6)	11(11)
気管切開(吸引・吸入)	呼吸器系18人		1(1)
経管栄養(胃瘻・経鼻栄養)	6(6)	2(2)	8(8)
導尿	5(5)	5(5)	10(10)
痙攣発作への対応 (座薬挿入・ブコラム注入等)	1(1)		1(1)
I 型糖尿病	1		1
合計	21(18)	17(17)	38(35)

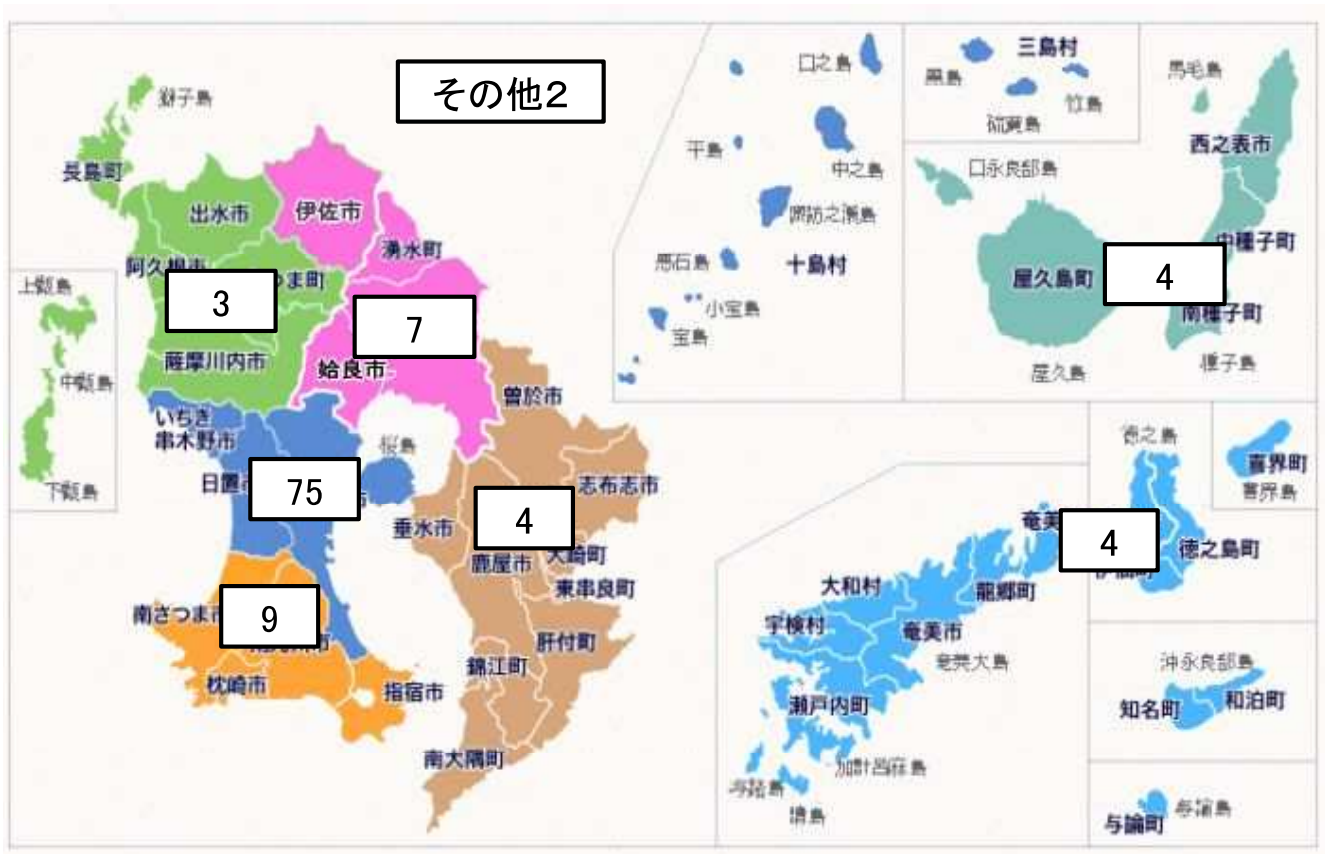
3.R5年度入園、入学通学圏域ごとの相談者数(38人)



4.R6年度 医療的ケア別新規相談者数(108人)



4.新規相談者(108名)の地域



5.事例紹介(Aさん)

<徳之島町立の小学校就学にむけて>

- ・ 病名: 脊髄性筋萎縮症(SMAⅡ型)
- ・ 年齢: 12歳・女児
- ・ 医療的ケア: 人工呼吸器装着・経鼻栄養
- ・ ADL(日常生活動作): 下肢全廃, 左手指・前腕可動可、自力での体位交換は不可。



本人・家族の思い

★地域の小学校に復学したい

徳之島町での取り組み

日時	相談元	内容(センターの関り)
R5年 11月	沖縄南部医療センター・ こども医療センター	退院に向けて(ZOOM)
12月～2月 2月末退院	徳之島徳洲会病院	入院受け入れと退院支援(ZOOM: 3回)
R6年 3月15日	徳之島教育委員会	錦江町の小学校視察(2名)同行
R6年 4月22日	徳之島の小学校	<教員研修: 医療的ケアと疾患の理解> <ネットワークの構築: 徳之島保健所>
令和6年 11月 5日～7日	徳之島教育委員会	・就学に向けての体制(最終確認) ・ 中学校進学にむけた関係機関との連携 <ネットワークの構築> 大島特別支援学校徳之島教室・相談支援事業 所ここから・徳之島保健所保健師・介護事業所 WITH YOU
R7年 1月15日	徳之島の小学校校長	・ 卒業証書の授与(昇降機の準備) ・徳之島教育委員会・カクイックスウィング徳之 島・特別支援学校徳之島教室
3月3日	家族	南特別支援学校見学(中止)

福祉車両で登校

令和6年3月15日

錦江町の小学校視察同行

＜徳之島町教育委員会職員2名＞

教員

母親

母親

校長先生

登校シーン

教員

エレベーターで教室へ

徳之島町教育委員会課長より

- ◆ 視察ができたことが一番よかった。視察するまでは、どうしたらいいか想像もつかなかった
- ◆ 就学のために何を準備しなければならないかイメージができた
- ◆ 環境整備・備品準備などを知ることができた
- ◆ 学校生活のイメージができた
- ◆ 学校・教育員会・看護師等の役割が理解できた

徳之島へ(R6年4月22日)



参加者:教員と教育委員会

「医療的ケアと疾患の理解」

- ・不安が少しは減った
- ・まさか、徳之島まで来てくれるとは思わなかった。

ネットワークの構築

:徳之島保健所(所長・保健師3名)



モデル人形とともに
飛行機で徳之島へ





再び徳之島へ

11月5日～7日
支援の実際を確認



小学校での学び

11月20日から毎日登校



6.センターが感じている課題

- 1.医療的ケア児等コーディネーターの質の向上
- 2.支援者（医師・看護師・リハスタッフ等）の確保
- 3.へき地・離島での医療資源の確保
- 4.レスパイト先の確保
- 5.災害時の体制整備
- 6.18歳以上の医療的ケア者への支援
医療、教育・就労・福祉サービス等

（参考）レスパイト入院可能と申出ている病院・診療所

かごしま子ども在宅療養ナビそよかぜ <https://www.soyokaze-kagoshima.jp/> 2025/1/31

地区	病院・診療所
鹿児島	6
北薩	2
南薩	5
姶良・伊佐	1
大隅	0
熊毛	2
大島	5
合計	21

